

# お出かけするより 楽しいわが家



わが家にタイトルをつけるなら、「身近な夢の国」「出かけたくなくなる家」というN様ご家族。なんでも、休暇のリフレッシュにと出かけたペンションで、自宅がいかに居心地良いかを再認識し、早々に帰ってきてしまったのだとか。わが家時間がいちばんの贅沢の、笑顔あふれるN様邸を訪ねました。

## コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.87



車好きのご夫婦がこだわったビルトインカーポートと外構プラン。ウッドデッキ前では芝を育成中！



上田市 N様ご家族/  
ご夫婦とお子さんの5人住まい  
※取材後、第三子がお生まれになりました！  
竣工/H28年8月 営業/鴨井竜也  
敷地面積/83.70坪 設計/片桐寿美  
延床面積/37.64坪 施工/林 大輔



木の家を多く見学された中で、工房信州の家の決め手は？

**ご主人** 上田周辺には「木の家」を謳う住宅会社がたくさんありますが、実際に見に行ってみるとその内実はさまざまでした。集成材の臭いで息苦しい家、自然派志向に偏った家、要次第でなんでもやりますという会社…。何社も見ながら、一番バランスが良いと感じたのが工房信州の家でした。素材もデザインも上質なのにすっきりと控えて、県内全域で頑張っている地元企業という規模感も魅力に感じました。それとスタッフの距離感もちょうど良かったですね。小さな工務店では「気に入ったらまた来て下さいね」と言われて、こちらから行動を起こさないと話が進まない。正直ハードルが高かったです。工房信州の家ではスタッフと年齢層が近いこともあり

フランクに話せて、尚且つちゃんとリードもしてくれた。営業担当の鴨井さんと「竣工したら新居で呑みましょう」と約束をして、本当に実現して泊まってもらったのは嬉しかったです。



スタッフはもちろん、職人さんとの関わりも深かったそうですね。



**ご主人** 工事中は現場に毎日のように通って、職人さんともよく話しました。細かな配線の収まりについて二時間も職人さんと話し込んだり…。雑談も多かったですが、工事の過程を任せきりではなく、自分も参加しているという実感が持てました。工事中にはひとま工房で木工引き子づくりをしたのですが、これが楽しくて(笑)。以来手仕事に目覚めて、竣工してからも薪小屋などいろいろと手作りしています。



新居での暮らしはいかがですか。



**奥様** 前はアパート住まいでしたが、引越してからは庭に出て子どもだけで遊ぶようになり、大人も子どもものびのびできるようになりました。薪割りにハマる主人の隣で、私は庭の手入れ、その横で子どもたちは砂利で遊ぶ。ちょっと疲れたらウッドデッキでお茶をしたり、ときにはピクニック気分ランチをしたり。外とつながる暮らしを新鮮な感覚で楽しんでいます。お出かけも良いけど、やっぱり我が家がいちばんです！



手が隠れるカウンターキッチンですっきりと。三灯連なる真鍮製ペンダントライトにセンスが光る。



リビング座卓の大きな一枚板は、モンキーポッド。「この木なんの木」のCMで有名なあの木です！



二階の共有スペースは、吹抜けに漂うような感覚の「浮き床」。変化のある空間が楽しい！

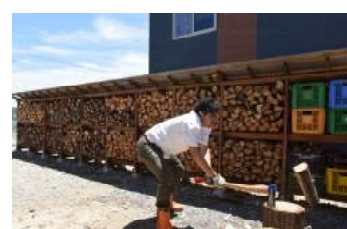


玄関ポーチを兼ねたカーポートが、家のファサードに表情をつける。板張り天井は一部天窓で明るさも確保。



担当 鴨井竜也

同世代のご夫婦の家づくりは、とても楽しそうでした。いつもウェルカムなご家族。私にとってもマイホームのようです。



### Focus on the Owner!!

「薪割りはスポーツ」と話すご主人の手慣れた斧使いは流石！敷地外周をぐるりと囲む薪小屋もすべてお手製で、区画分けした薪材と収穫コンテナに収納した焚付け材が見栄えも良い。「冬がきて焚くのが勿体ない」というほど充足感がある様子！